

要安全確認計画記載建築物 耐震診断結果一覧

平成25年11月に改正された建築物の耐震改修の促進に関する法律（以下「法」という。）では、地震により建築物が道路に倒壊して緊急車両等の通行を妨げ、相当多数の者の円滑な避難を困難とすることを防ぐため、法第6条第3項第1号により、地方公共団体が指定する道路沿いの要安全確認計画記載建築物の所有者等に対し、耐震診断を行いその結果報告を義務付けることができる規定が追加されました。

これを受けて本市では、平成27年5月に川崎市耐震改修促進計画を改定し、法第6条第3項第1号の道路として、緊急交通路及び第1次緊急輸送道路内の特に重要な区間を指定し、平成31年3月31日を期限として、要安全確認計画記載建築物の耐震診断の結果報告を義務付けました。

このたび、所有者等からの報告内容の精査が終わったことから、同法第9条に基づき耐震診断結果の一覧を公表します。

| 対象道路（32路線） | | | |
|--------------------------------|---|-------------|----|
| 緊急交通路指定想定路線 | 頁 | 第1次緊急輸送道路 | 頁 |
| 東名高速道路 | / | 国道357号 | / |
| 国道466号（第三京浜道路） | / | 県道9号 川崎府中 | 10 |
| 首都高速道路（横羽線、川崎線及び湾岸線） | / | 県道13号 横浜生田 | / |
| 国道1号 | / | 市道 野川菅生線 | 10 |
| 国道15号 | 1 | 市道 尻手黒川線 | 10 |
| 国道132号 | 1 | 市道 川崎駅東扇島線 | / |
| 国道246号 | 2 | 市道 千鳥町1号線 | / |
| 国道409号（東京湾アクアライン及び県道9号川崎府中を含む） | 3 | 市道 東扇島1号線 | 10 |
| 県道2号線 東京丸子横浜 | 6 | 市道 駅前本町線 | / |
| 県道3号線 世田谷町田 | 7 | 市道 野川柿生線 | / |
| 県道6号線 東京大師横浜 | / | 市道 高津5号線 | / |
| 県道12号線 横浜上麻生 | / | 臨港道路 内貿6号道路 | / |
| 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 7 | 臨港道路 緑地前道路 | / |
| 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 9 | 臨港道路 船溜道路 | / |
| | | 臨港道路 幹線5号道路 | / |
| | | 臨港道路 外貿9号道路 | / |
| | | 臨港道路 北岸2号道路 | / |
| | | 臨港道路 外貿5号道路 | / |

※頁が斜線となっている道路は該当の建築物がない道路

【令和3年 5月26日 公表】
【令和8年 3月31日 更新】
川崎市

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | | |
|-----|--------|------------------|---------------------|--------------|---|-----------------------------|------|--------------------|---|------|----|---|-------------------------------------|
| | | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | | | |
| 1 | 国道15号 | 川崎区本町二丁目12番地14 | 六郷ビル | 共同住宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 0.53 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.25 | | | 耐震診断の範囲は地上1階部分 $I_{50}=0.594$ 、 $R_t=0.99$ | |
| | | | | | | I_s/I_{50} | 0.58 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.28 | | | 耐震診断の範囲は地上2階～地上11階部分 $I_{50}=0.594$ 、 $R_t=0.99$ | |
| 2 | 国道15号 | 川崎区宮前町8番地3 | あなぶきPMアカデミー-TOKYO | 事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1983年版) | I_s/I_{50} | 1.08 | - | - | | | | |
| 3 | 国道15号 | 川崎区宮前町8番地1 | マツバラビル マンションマツバラ | 共同住宅・店舗・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 1.06 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.50 | | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上4階部分 |
| | | | | | | I_s/I_{50} | 1.20 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.57 | | | | 耐震診断の範囲は地上5階～地上7階部分 |
| | | | | | | I_s/I_{50} | 1.11 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.41 | | | | 耐震診断の範囲は地上8階～地上9階部分 |
| 4 | 国道15号 | 川崎区東田町11番地27 | メットライフ川崎ビル | 事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充饒】 | I_s/I_{50} | 1.02 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.53 | | | $I_{50}=0.594$ 、 $R_t=0.99$ | |
| 5 | 国道15号 | 川崎区貝塚一丁目3番地5 | ハイネス貝塚 | 共同住宅・診療所・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 1.03 | $C_T \cdot S_D$ | 0.38 | | | $I_{50}=0.55$ | |
| 6 | 国道15号 | 川崎区貝塚一丁目4番地11 | ドミール貝塚マンション | 共同住宅・店舗・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 0.33 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.11 | | | | 耐震診断の範囲は地上1階部分 $R_t=0.955$ |
| | | | | | | I_s | 0.20 | α | 0.44 | | | | 耐震診断の範囲は地上2階～地上11階部分 $R_t=0.955$ |
| 7 | 国道15号 | 川崎区元木二丁目111番地 | 財形元木マンション | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.36 | | | | |
| 8 | 国道15号 | 川崎区池田二丁目146番地6 外 | アルカサル建群 | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充饒】 | I_s/I_{50} | 0.36 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.20 | | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上8階部分 |
| | | | | | | I_s/I_{50} | 0.80 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.32 | | | | 耐震診断の範囲は地上9階～地上11階部分 |
| 9 | 国道132号 | 川崎区横町1番地12 | 川崎センタービル | 事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.64 | | | | |
| 10 | 国道132号 | 川崎区横町1番地10 外 | セントラルハイツ | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 0.80 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.3 | | | | |
| 11 | 国道132号 | 川崎区宮前町8番地9 | 大幸ビル | 事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充饒】 | I_s/I_{50} | 0.71 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.28 | | | | |
| 12 | 国道132号 | 川崎区宮前町8番地11 外 | 宮前カーネル | 共同住宅・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【充饒】 | I_s/I_{50} | 0.48 | $C_T \cdot S_D$ | 0.28 | | | | |
| 13 | 国道132号 | 川崎区宮前町8番地13 外 | パールビルディング | 共同住宅・店舗・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充饒】 | I_s/I_{50} | 0.50 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.28 | | | | |
| 14 | 国道132号 | 川崎区宮前町12番地5 | 川崎法務合同庁舎 | 事務所 | 一般財団法人建築安全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」 | $\alpha_w(\alpha_{Q_{10}})$ | 1.07 | G_{Is} | 1.07 | | | $\alpha=1.20$ $I=1.0$ として診断 | |
| 15 | 国道132号 | 川崎区富士見二丁目5番地27 外 | 富士見カーネル | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.45 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.27 | | | 耐震改修予定(時期未定) | |
| 16 | 国道132号 | 川崎区藤崎一丁目13番地14 外 | スターマンション室星 | 共同住宅・店舗・事務所 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.48 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.19 | | | 耐震改修予定(時期未定) | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | |
|-----|---|---|-------------------|--------------------|------------|--|--|---------------------|---|--------------------|------|-------------------------------------|
| | | | | | | I_s/I_{50} | $C_{TU} \cdot S_0$ | | 内容 | 実施時期 | | |
| 17 | 国道132号 | 川崎区緑崎三丁目160番地9 | 高和ビル | 居宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.40 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.27 | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上4階部分 |
| | | | | | 4-1 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法 | I_s/I_{50} | 1.37 | - | - | | 耐震診断の範囲は地上5階部分 |
| 18 | 国道132号 | 川崎区四谷上町198番地3 外 | 一般財団法人 日本環境衛生センター | | 5-5 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【非充履】 | I_s/I_{50} | 0.74 | $C_T \cdot S_0$ | 0.61 | | |
| | | | 旧館 | 事務所・研究施設 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.43 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.36 | | |
| 19 | 国道132号 | 川崎区四谷上町214番地1 | 大生ビル | | 共同住宅・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.38 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.14 | |
| 20 | 国道246号 | 高津区久地二丁目5番地1 | サンヨースカイハイツ | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{50} | 0.72 | $C_T \cdot S_0$ | 0.33 | | 耐震診断の範囲は地上1階部分、地上2階～地上3階部分の一部 |
| | | | | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{50} | 0.50 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.30 | | 耐震診断の範囲は地上2階～地上3階部分の一部、地上4階～地上11階部分 |
| 21 | 国道246号 | 高津区下作延二丁目745番地7 外 | 榎ヶ谷ビレジ | | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.45 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.32 | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.50 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.31 | | |
| | | | B棟 | | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.50 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.30 | | |
| C棟 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | | 0.50 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.30 | | | | | |
| 22 | 国道246号 | 高津区榎ヶ谷二丁目4番地2 | 榎ヶ谷住宅 | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.49 | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.48 | | |
| | | | B棟 | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.48 | | |
| 23 | 国道246号 | 高津区榎ヶ谷二丁目13番地5 | 第2配水工事事務所 | | 事務所・駐車場等 | 4-1 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法 | I_s/I_{50} | 1.21 | - | - | |
| 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.05 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.40 | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上3階部分 | | | | |
| 24 | 国道246号 | 宮前区有馬二丁目9番地4 | 西川商事ビル | 事務所・作業所 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{50} | 1.08 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.29 | | |
| 25 | 国道246号 | 宮前区有馬二丁目3番地1 | パークハイツ鶴沼 | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{50} | 1.03 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.43 | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.41 | | |
| 26 | 国道246号 | 宮前区有馬一丁目23番地1 | 鶴沼南ハイデンス | | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{50} | 0.96 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.27 | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 |
|-----|--------------------------------|---|-----------------|-------------|------------|---|--------------|-------|--------------------|---|------|-------------------|
| | | | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 27 | 国道246号 | 宮前区有馬四丁目3番地1 | コーポ難沼 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.51 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.31 | | |
| 28 | 国道246号 | 宮前区有馬四丁目2番地12 | 難沼有馬スカイマンション | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.60 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.34 | | |
| 29 | 国道246号 | 宮前区難沼一丁目6番地6 | シャトー稲村 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.66 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.32 | | |
| 30 | 国道246号 | 宮前区有馬八丁目4番地1 | 難沼南スカイマンション | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.65 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.39 | | |
| 31 | 国道246号 | 宮前区有馬九丁目2番地2 | 難沼さくら公園スカイマンション | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充版】 | I_s/I_{s0} | 0.61 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.27 | | |
| 32 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区菅三丁目162番地5 | ティ・エス・エビル | 工場 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.15 | α | 0.62 | | 耐震改修予定(時期未定) |
| 33 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区宮北浦二丁目2808番地5外 | 第1ヒロタマンション | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.42 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.25 | | |
| 34 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区東生田一丁目4455番地 外 | ソフトタウン向ヶ丘 | | | | | | | | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充版】 | I_s/I_{s0} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.32 | | |
| B棟 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充版】 | I_s/I_{s0} | | 1.03 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.35 | | | | | |
| 35 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区長尾二丁目1324番地2 | 京王向ヶ丘マンション | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 1.00 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.60 | | |
| 36 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区長尾二丁目1236番地1 | ラクハイツ山口 | 共同住宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.26 | α | 1.02 | | |
| 37 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区長尾三丁目1166番地97 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | 0.11 | | | |
| 38 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区長尾七丁目476番地9 外 | 寿マンション | 共同住宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.12 | α | 0.46 | | |
| 39 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 多摩区宮河原六丁目936番地1 | さらさビル | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 1.09 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.67 | | |
| 40 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区久地四丁目715番地1 外 | タイハイビル | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 1.10 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.31 | | $I_s=0.66$ |
| 41 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区久地四丁目597番9 | - | 居宅・倉庫 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | 0.05 | | | 建替え又は除却予定(時期未定) |
| 42 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区久地四丁目577番地3 | 有限会社 河辺工機製作所 | 共同住宅・工場 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.11 | α | 0.47 | | |
| 43 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区久地一丁目544番地7 | ピレッジ共和 | 共同住宅・事務所・倉庫 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.006 | α | 0.02 | | |
| 44 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区溝口三丁目1215番地1 | 田中屋ビル | 店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.91 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.55 | | 京東14号線 鶴見溝ノ口にも接する |
| 45 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を走る) | 高津区溝口四丁目35番地7 | ファミール高津 | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.78 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.44 | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | |
|-----|--|-------------------|-------------------------|-------------|--|----------------------------|-------------------------|---|------|----------------|--|
| | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | | |
| 46 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 高津区溝口三丁目61番地4 | 佐保田ビル | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 0.95 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.36 | | | | |
| 47 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 高津区溝口三丁目59番地5 外 | 第一鈴勝ビル | 事務所 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 1.03 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.49 | | | | |
| 48 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 高津区溝口四丁目57番地1 | フジビル | 居宅・店舗 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s 0.08 | α 0.33 | | | | |
| 49 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 高津区二子五丁目639番地1 | 中興ビル2 | 店舗・事務所 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 0.71 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.31 | | | | |
| 50 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目309番地8 | レモンハウス | 共同住宅・店舗 | 2 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.02 | | | | |
| 51 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目305番地19 | - | 居宅・倉庫 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s 0.63 | α 2.55 | | | 耐震診断の範囲は地上1階部分 | |
| | | | | | 2 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 1.49 | | | 耐震診断の範囲は地上2階部分 | |
| 52 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目640番地5 | 成興化工ビル | 居宅・店舗 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s 0.17 | α 0.71 | | | | |
| 53 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目675番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.13 | | | | |
| 54 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目675番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.28 | | | | |
| 55 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目658番地9 | 等々カグリーンビレッジ | 共同住宅・店舗 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 1.06 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.65 | | | | |
| 56 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区宮内四丁目658番地1 | パークサイド武蔵小杉 | | | | | | | | |
| | | | 東棟 | 共同住宅 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 0.61 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.35 | | | 耐震改修予定(時期未定) | |
| 南棟 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} 0.50 | $C_{TU} \cdot S_D$ 0.31 | | | | 耐震改修予定(時期未定) | | | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | | | | |
|---------|--------------------------------|-------------------|---------------|---------|---|--|--------------|-----------------|---|------|---------------------|---------------------------|--|--|--|
| | | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | | | | | |
| 57 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区市ノ坪字新田581番地1 | 市ノ坪住宅 | | | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饒】 | I_s/I_{s0} | 1.02 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.25 | | $I_{s0}=0.593, R_t=0.987$ | | | |
| | | | A棟 | 5-6 | | | | | | | | | | | |
| | | | B棟 | 5-6 | | | | | | | | | | | $I_{s0}=0.572, R_t=0.953$ |
| | | | C棟 | 5-6 | | | | | | | | | | | $I_{s0}=0.593, R_t=0.987$ |
| | | | D棟(住宅棟) | 5-6 | | | | | | | | | | | 耐震診断の範囲はX方向部分 $I_{s0}=0.593, R_t=0.987$ |
| | | | D棟(EV棟) | 5-6 | | | | | | | | | | | 耐震診断の範囲はX方向部分 $I_{s0}=0.572, R_t=0.953$ |
| | | | D棟 | 5-6 | | | | | | | | | | | 耐震診断の範囲はY方向部分 $I_{s0}=0.572, R_t=0.953$ |
| | | | E棟(住宅棟) | 5-6 | | | | | | | | | | | 耐震診断の範囲はX方向部分 |
| E棟(EV棟) | 5-6 | | | | 耐震診断の範囲はX方向部分 | | | | | | | | | | |
| E棟 | 5-6 | | | | 耐震診断の範囲はY方向部分 | | | | | | | | | | |
| 58 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区市ノ坪字新田634番地1 | 長門マンション | 共同住宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.17 | α | 0.69 | | | | | | |
| 59 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区鹿島田三丁目99番地 | - | 居宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | | 0.23 | | | | | | |
| 60 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区鹿島田三丁目103番地4 外 | - | 居宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | | 0.20 | | | | | | |
| 61 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 中原区田尻町77番地10 | - | 居宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | | 0.70 | | | | | | |
| 62 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区鹿島田三丁目107番地5 外 | - | 居宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | | 1.14 | | | | | | |
| 63 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区鹿島田二丁目1036番地1 | - | 居宅・倉庫 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.67 | α | 1.74 | | | | | | |
| 64 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区鹿島田二丁目1080番地1 | 鹿島田セントラルマンション | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【充饒】 | I_s/I_{s0} | 1.26 | $C_T \cdot S_0$ | 0.63 | | 耐震診断の範囲は地上1階~地上5階部分 | | | | |
| | | | | | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【非充饒】 | I_s/I_{s0} | 1.04 | $C_T \cdot S_0$ | 0.67 | | 耐震診断の範囲は地上6階~地上9階部分 | | | | |
| 65 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区下平間字稲荷耕地70番地12 | - | 居宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | | | 0.44 | | | | | | |
| 66 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区下平間字稲荷耕地12番地1 外 | 下平間サンハイツ | 共同住宅 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【充饒】 | I_s/I_{s0} | 0.76 | $C_T \cdot S_0$ | 0.32 | | | | | | |
| 67 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京道9号川崎府中をきむ) | 幸区下平間字稲荷耕地48番地19 | 扇ビル | 共同住宅・店舗 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.21 | α | 0.85 | | | | | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | | |
|--------|--------------------------------|---|-----------------|-------------|------------|---|-----------------|---------------------|---------------------|---|------|----|------------------------|----------|
| | | | | | | I_s | I_s/I_{s0} | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 内容 | 実施時期 | | | |
| 68 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 川崎市幸区下平間字宮前耕地223番地20 外 | 上州屋第1ビル | 店舗・事務所 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.14 | a | 0.57 | | | 建替え予定(時期未定) | |
| 69 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 幸区小向西町四丁目66番地 外 | メソンスカイビルズ | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.70 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.53 | | | |
| 70 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 幸区戸手1丁目18番地1 | 澤村ビル | 共同住宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.03 | a | 0.10 | | | | |
| 71 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 幸区河原町1番地 | 河原町住宅1号棟 | | | | | | | | | | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-5 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【非充履】 | I_s/I_{s0} | 1.76 | $C_T \cdot S_D$ | $C_T \cdot S_D$ | 0.31 | | | |
| B棟 | 5-5 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)【非充履】 | I_s/I_{s0} | | 1.01 | $C_T \cdot S_D$ | $C_T \cdot S_D$ | 0.28 | | | | | | |
| 72 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 川崎区本町二丁目12番地1 | ウィング川崎 | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.65 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.31 | | | |
| 73 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 川崎区堀之内町13番地5 外 | 金瓶梅 | 特殊浴場 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.02 | a | 0.09 | | | 耐震診断の範囲はA通り～B通り間 | |
| | | | | | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.05 | a | 0.22 | | | 耐震診断の範囲はC通り～D通り間 | |
| 74 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 川崎区堀之内町13番地6 | 琥珀 | | | | | | | | | | | |
| | | | 昭和47年、昭和52年棟 | 特殊浴場 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.08 | a | 0.32 | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上4階部分の一部 | |
| 昭和52年棟 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | | 0.10 | a | 0.38 | | | 耐震診断の範囲は地上1階部分の一部 | | | | |
| 75 | 国道409号(東京湾アクアライン及び京東9号川崎府中を含む) | 川崎区大師駅前一丁目16番地4 外 | セブンスターマンション川崎大師 | 共同住宅・店舗 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{s0} | 0.46 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.22 | | | |
| 76 | 県道2号線 東京丸子横浜 | 中原区丸子通一丁目660番地3 | シャルム新丸子 | 共同住宅・店舗 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{s0} | 1.01 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.46 | | | |
| 77 | 県道2号線 東京丸子横浜 | 中原区丸子通一丁目651番地1 | NICハイム新丸子 | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{s0} | 0.76 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.35 | | | |
| 78 | 県道2号線 東京丸子横浜 | 中原区丸子通一丁目650番地1 | マンション第一多摩川苑 | 共同住宅 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{s0} | 0.63 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.38 | | | 地上8階建て部分 |
| | | | | | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | | | | | | | | 地上4階建て部分 |
| 79 | 県道2号線 東京丸子横浜 | 中原区丸子通一丁目636番地4 外 | 朝日多摩川マンション | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充履】 | I_s/I_{s0} | 0.59 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.26 | | | |
| 80 | 県道2号線 東京丸子横浜 | 中原区木月二丁目372番地2 | 第一コーポ | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{s0} | 0.21 | $C_{T,U} \cdot S_D$ | $C_{T,U} \cdot S_D$ | 0.15 | | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | |
|-----|-----------------|---|-------------------|-------------|------------|--|--------------|---|-----------------------|------|----------------|
| | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | | |
| 81 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区柿形四丁目 1568番地1 | 向ヶ丘ダイアハイ ツ | 共同住宅 | 4-1 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法 | I_s/I_{50} | 2.17 | - | - | 耐震診断の範囲は平屋店舗部分 |
| | | | | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【非充履】 | I_s/I_{50} | 0.65 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.29 | |
| 82 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田八丁目 3502番地1 | ドミール生田 | | | | | | | | |
| | | | A棟 | 共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.08 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.67 | |
| B棟 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | | 1.05 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.64 | | | | |
| 83 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田八丁目 3460番地1 | 光サンプル生田 | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.58 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.36 | |
| 84 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田七丁目 3188番地1外 | - | 長屋 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.10 | | | |
| 85 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田七丁目 3203番地5 | 吉田ビル | 居宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.23 | α | 0.93 | |
| 86 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田七丁目 3008番地 外 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.18 | | | |
| 87 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区生田七丁目 2924番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.12 | | | |
| 88 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区西生田二丁目 2954番地7外 | 生田ニューショッ パースビル | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.30 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.82 | |
| 89 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区西生田一丁目 2256番地14外 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.16 | | | |
| 90 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区西生田一丁目 2302番地3 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.15 | | | |
| 91 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区西生田一丁目 2287番地1外 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.07 | | | |
| 92 | 県道3号線 世田谷町田 | 多摩区西生田一丁目 2283番地6外 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.14 | | | 耐震改修予定(時期未定) |
| 93 | 県道3号線 世田谷町田 | 麻生区高石三丁目 80番地7 | ハヤカワビル | 共同住宅・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 1.35 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.82 | |
| 94 | 県道3号線 世田谷町田 | 麻生区百合丘一丁目 23番地4 | 百合ヶ丘ダイヤモンド | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.61 | $C_{TU} \cdot S_{D3}$ | 0.37 | |
| 95 | 県道3号線 世田谷町田 | 麻生区高石一丁目 839番地4 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.10 | | | |
| 96 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 高津区溝口三丁目 88番地 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 | 0.21 | | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | |
|-----|-----------------|---------------------------|-----------------|--------------|------------|---|-------------------|---|------|--------------|------------------------|
| | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | | |
| 97 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区溝口二丁目 138番地 | シマザキビル | 共同住宅・事務所・保育園 | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【允認】 | l_s/l_{s0} 1.18 | $C_{T1} \cdot S_0$ 0.32 | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上2階部分の一部 |
| | | | | | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | | | | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上2階部分の一部 |
| | | | | | 5-6 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【允認】 | l_s/l_{s0} 1.20 | $C_{T1} \cdot S_0$ 0.29 | | | 耐震診断の範囲は地上3階～地上6階部分 |
| 98 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区溝口二丁目 462番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.22 | | | | |
| 99 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区溝口二丁目 240番地2 | 満ノログリーンハウス | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{s0} 1.03 | $C_{T1} \cdot S_0$ 0.41 | | | |
| 100 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区溝口二丁目 454番地2 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.10 | | | | |
| 101 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区溝口二丁目 245番地7 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.08 | | | | |
| 102 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区末長三丁目 1071番地52 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.11 | | | | |
| 103 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区末長三丁目 1084番地46 | - | 共同住宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.10 | | | | |
| 104 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区末長三丁目 1084番地46 | - | 長屋 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.35 | | | | |
| 105 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区末長二丁目 1088番地2 | - | 居宅・事務所・倉庫 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.15 | | | | |
| 106 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区新作四丁目 567番地2 | 朝日荘第二 | 共同住宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.19 | | | | |
| 107 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区新作三丁目 926番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.27 | | | | |
| 108 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区新作三丁目 926番地5 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.17 | | | 耐震改修予定(時期未定) | |
| 109 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区千年字根田 耕地 1290番地1 | - | 居宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.17 | | | | |
| 110 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区千年字北浦 792番地1 | アオキビル | 居宅・店舗・倉庫 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s 0.10 | α 0.40 | | | |
| 111 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 高津区子母口字根田 町 388番地 | NTT東日本 神奈川子母口ビル | 事務所 | 5-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版) | l_s/l_{s0} 1.03 | $C_T \cdot S_0$ 0.37 | | | |
| 112 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 中原区井田一丁目 969番地3 | 西川マンション | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{s0} 0.38 | $C_{T1} \cdot S_0$ 0.18 | | | |
| 113 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 中原区井田中ノ町 299番地1 | 漆原眼科クリニック | 診療所 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | 上部構造評点 0.51 | | | | |
| 114 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 中原区井田中ノ町 379番地3 | MSDビル | 共同住宅・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{s0} 0.78 | $C_{T1} \cdot S_0$ 0.30 | | | |
| 115 | 県道14号線 鶴見満ノ口 | 中原区木月三丁目 969番地5 外 | 木月自動車修理工場 | 工場・事務所 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s 0.28 | α 1.14 | | | 建替え予定(時期未定) |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 | | | |
|-----|-------------------|---|----------------|----------|------------|---|--------------|------|---|------|------|---------|--------------|--|
| | | | | | | I_s | α | 1.46 | 内容 | 実施時期 | | | | |
| 116 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 中原区木月三丁目 969番地8 外 | コンテリアル | 事務所・倉庫 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.36 | α | 1.46 | 耐震改修 | 令和3年度着手 | | |
| 117 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 中原区木月三丁目 923番地1 | - | 居宅 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | | | | 1.23 | | | | |
| 118 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 中原区木月四丁目 1526番地2 | リーヴィス高橋 | 共同住宅・店舗 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | | | | 0.17 | | | | |
| 119 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 中原区木月四丁目 1523番地5 | 三上マンション | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.61 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.37 | | | | |
| 120 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 幸区南加瀬四丁目 1865番地1 | 田野倉ビル | 居宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.13 | α | 0.53 | | | | |
| 121 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 幸区南加瀬二丁目 45番地7 | 平林ビル | 診療所・事務所 | 12 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第2次診断法 | I_s/I_{50} | 1.01 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.43 | | | | |
| 122 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 幸区南加瀬二丁目 2011番地 | NTT東日本 幸加瀬ビル | 事務所 | 5-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版) | I_s/I_{50} | 1.03 | $C_T \cdot S_0$ | 0.65 | | | | |
| 123 | 県道14号線 鶴見溝ノ口 | 幸区小倉五丁目 1732番地24 | 小倉ビル | 店舗・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.71 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.55 | | | | |
| 124 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区小杉御殿町一丁目 928番地2 | - | 居宅 | 2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。) | | | | 0.56 | | | | |
| 125 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区小杉御殿町一丁目 973番地1 外 | 御殿マンション | 店舗・共同住宅 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.43 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.31 | | | | |
| 126 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中七丁目 1559番地1 | - | 居宅・事務所 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.58 | α | 2.32 | | | | |
| 127 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中七丁目 1558番地1 外 | ミノウラガラス店 | 居宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.71 | α | 1.68 | | | | |
| 128 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1481番地2 | 武蔵中原市街地住宅 | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.20 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.12 | | | 除却予定(時期未定) | |
| 129 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1478番地1 | 小泉ビル | 共同住宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.23 | α | 0.95 | | | | |
| 130 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1401番地5 | 小泉ビル | 居宅・店舗 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.30 | α | 1.21 | | | 耐震改修予定(時期未定) | |
| 131 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1390番地3 | 中原ハイツ第二朝山マンション | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.55 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.24 | | | | |
| 132 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1754番地1 | サンライト第2ビル | | | | | | | | | | | |
| | | | A棟 | 共同住宅・事務所 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.75 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.30 | | | | |
| | | | B棟 | | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | 0.63 | α | 2.52 | | | | |
| C棟 | 3-2 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | I_s | | 1.53 | α | 6.15 | | | | | | | |
| 133 | 県道45号線 丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中六丁目 1325番地6 | 島田ビル | 共同住宅・店舗 | 5-3 | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | I_s/I_{50} | 0.58 | $C_{TU} \cdot S_0$ | 0.23 | | | | |

| No. | 前面道路名 | 建築物の位置 | 建物名称 | 用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | | | 耐震改修等の予定 (耐震性が確保されているものには斜線を引いています。) | | 備考 |
|-------|---------------|---------------------|--------------------|-------------|---|----------------------------|------|--------------------|---|------|---------------------|
| | | | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 134 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中6丁目1325番地5 | 渡辺ビル | 共同住宅・店舗 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.60 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.09 | | |
| 135 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中6丁目1324番地2 外 | 旭ビル | 店舗・共同住宅 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.63 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.35 | | |
| 136 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 中原区上小田中6丁目1324番地1 外 | タナヘビル | 店舗・共同住宅 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.55 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.33 | | |
| 137 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 中原区下新城二丁目783番地1 外 | 藤原ビル | 共同住宅・店舗・事務所 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.35 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.21 | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上6階部分 |
| | | | | | 4-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法 | l_s/l_{50} | 1.17 | - | - | | 耐震診断の範囲は地上7階部分 |
| 138 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 中原区下新城一丁目709番地2 | 松原ビル | 共同住宅・事務所 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.21 | α | 0.87 | | |
| 139 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 高津区千年字岩川647番地7 外 | - | 居宅 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.09 | α | 0.37 | | 耐震改修予定(時期未定) |
| 140 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 高津区千年字岩ノ前606番地3 | 小泉ビル | 共同住宅・事務所 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.78 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.48 | | |
| 141 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 高津区千年字岩川641番地1 | 千年641ビル | 居宅・店舗・事務所 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.24 | α | 0.98 | | |
| 142 | 県道45号線丸子中山茅ヶ崎 | 高津区千年字岩ノ前623番地1 | 小宮ビル | 共同住宅・店舗・事務所 | 12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式フレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第2次診断法 | l_s/l_{50} | 1.08 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.67 | | |
| 143 | 県道9号川崎府中 | 川崎区東田町5番地3 | ホンマビル | 事務所 | 5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饜】 | l_s/l_{50} | 0.65 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.25 | | |
| 144 | 市道野川菅生線 | 宮前区大蔵二丁目3634番地1 | 宮前平エコーハイッ | 共同住宅 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 1.00 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.61 | | |
| 145 | 市道野川菅生線 | 宮前区土橋二丁目6番地15 | 宮前平コーナ | 共同住宅 | 5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饜】 | l_s/l_{50} | 0.63 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.31 | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上2階部分 |
| | | | | | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.53 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.32 | | 耐震診断の範囲は地上3階～地上7階部分 |
| 146 | 市道野川菅生線 | 宮前区馬絹四丁目2042番地1 | 小田ビル | 共同住宅・店舗 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.74 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.37 | | |
| 147 | 市道野川菅生線 | 宮前区馬絹四丁目1501番地1 外 | 島崎馬絹ビル | 店舗 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 1.07 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.67 | | |
| #REF! | 市道尻手黒川線 | 高津区東野川一丁目3666番地1 外 | タニコー株式会社川崎営業所 | 展示場・事務所 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.24 | α | 0.53 | | 耐震改修予定(時期未定) |
| #REF! | 市道尻手黒川線 | 高津区子母口字旭田852番地8 | 第一小野ビル | 共同住宅・店舗 | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.13 | α | 0.54 | | |
| #REF! | 市道尻手黒川線 | 高津区子母口字旭田313番地1 外 | タチバナホール | ボウリング場 | 5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版) | l_s/l_{50} | 0.78 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.35 | | |
| #REF! | 市道東島1号線 | 川崎区東島26番地3 | 株式会社長谷川梱包交運東島事業所本館 | 倉庫 | 5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)【充饜】 | l_s/l_{50} | 0.73 | $C_{TU} \cdot S_D$ | 0.46 | | 耐震診断の範囲は地上1階～地上3階部分 |
| | | | | | 3-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版) | l_s | 0.10 | α | 0.38 | | 耐震診断の範囲は地上4階～地上5階部分 |